

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立行田特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校内外の環境分析を的確に行った上で、今年度「最大限」という文言が付け加えられた。特別支援教育の趣旨や特性を踏まえ、保護者・児童生徒からの期待に応えようとする意欲が示された学校像となっている。学校関係者などから寄せられる期待をより詳細に把握し分析して、更に適切かつ魅力あるものとなるよう今後も検討していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から、学校が取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。学校の状況や取組の成果・課題などを踏まえており、概ね適切なものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標を踏まえて分掌・学部等で取組が行われている。更に全校的な取組を促進していくために、分掌・学部等の連携を図り、情報交換や情報共有を行い、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体のシート及び分掌・学部のシートにおいて、方策の実施時期が記載され、計画的に取組が行われている。方策がやや抽象的なものとなっているので、より具体的なものとすると良い。評価指標については、取組指標と成果指標をうまく組み合わせることで明確で分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、評価運営委員会、職員会議において、教職員の共通理解を図ろうとしている。校長が状況に即して的確なリーダーシップを発揮し、分掌・学部等が課題解決に向けて更に連携して組織的に取り組むように工夫することが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者アンケートを実施するなど、学校自己評価のための情報が収集されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために、アンケートの回収率の向上などに向けて実施方法や内容の工夫を進め、更に学校関係者の意見を多面的に分析して、次年度の具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			